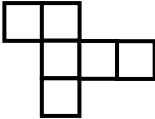
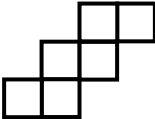
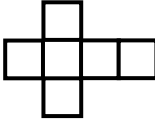


学校名	小平市立花小金井小学校	実施年月日	平成17年1月26日
指導者	竹内 智	授業コード	J-5
学年	6年生	教科	算数
単元名	直方体と立方体		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直方体・立方体の性質を、既習の図形の性質をもとにして調べようとする。(関心・意欲・態度)</li> <li>・立体図形の構成要素に着目して、直方体・立方体の特徴や性質をとらえる。(数学的思考方)</li> <li>・直方体・立方体の展開図をかくことができる。(表現・処理)</li> <li>・直方体・立方体の概念とその展開図の見方がわかる。また、面や辺の垂直と平行の関係を理解する。(知識・理解)</li> </ul>		
単元の指導計画	<p>第1次 第1・2時 直方体・立方体の概念を理解する。 第3時 直方体・立方体の特徴・性質を理解する。 第4・5時 直方体の見取り図について知り、展開図をかくことができる。</p> <p>第2次 第1時 直方体の辺と辺の垂直・平行の関係を理解する。 第2時 直方体の面と面の垂直、平行の関係を理解する。</p> <p>第3次 第1時 学習内容の習熟</p> <p>第4次 第1時 課題選択学習(発展的な学習・補充的な学習)</p>		
本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立方体の展開図が何通りあるかを調べることを通して、立方体に対する理解をいっそう深める。</li> </ul>		

本時の学習活動の展開

導入	<p>【1】問題を提示する。</p> <p><b>問題： 立方体の展開図は何通りあるか調べよう。</b></p>
展開	<p>【2】課題を解決させる。 * 困っている子どもには、デジタルコンテンツを用いて支援する。</p> <p>【3】それぞれの展開図を発表させる。</p> <p>例) ①  ②  ③ </p> <p>* デジタルコンテンツを用いて、それぞれの展開図が正しいかどうかを検証していく。 * 展開図を考える際に工夫した点を確認していく。</p>
まとめ	<p>【4】立方体の展開図についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立方体の展開図は全部で11通りある。</li> <li>・展開図を考える際には面と面のつながり方を考えればよい。</li> </ul>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>教科書会社「教育出版」の算数デジタルコンテンツを2つ使用する。1つは、立方体の展開図を作成し、正しいかどうかを判別するコンテンツ、もう1つは、画面上で展開図から立方体を組み立て表示するコンテンツである。</p> <p>本時では、自力解決の際に、まず前者のコンテンツを支援の道具として活用したい。不完全な展開図を示し、「正方形をどこに付け足せば完成するか」尋ねるなどして、子どもの理解を促したい。また、まとめの段階で、それぞれの展開図について検証する際には、後者のコンテンツを主に用いる。展開図を画面上で組み立てることにより、どの子どもも納得できるのではないかと思われる。本コンテンツのよさ(視覚に訴えやすい)を生かして、子どもが納得できる授業を目指していきたい。</p>